

第23期第5回理事会議事録

日時 昭和61年5月21日(水) 18:00~20:30

場所 気象庁観測部会議室

出席者 理事 山元, 松本, 田宮, 花房, 土屋, 杉村,
竹内, 山岸, 浅井, 松野, 吉野, 河村,
能登, 菊地, 立平, 股野, 中島, 広田,
瓜生, 石島

監事 丸山

議事

A. 報告事項

各委員会報告

[庶務]

資料にもとづき報告があった。主なものは次のとおり。

- (1) 郵政省電波研究所から昭和61年度春季研究発表会の案内。
- (2) 勸日本生命財団から'86日本生命財団シンポジウム「水資源の保全」についての案内。
- (3) 国立公害研究所から国立公害研究所研究発表会開催の案内。
- (4) 宇宙開発事業団から第2回宇宙開発事業団技術成果発表会開催の案内。

[講演企画]

今回から春季大会では小規模な研究会を応援することとなり、大会前日に2つの研究会が開催された。

- (1) 梅雨に関する研究会 東京大学理学部3号館
326号室
- (2) 南極の気象 気象庁第一会議室

2つの研究会とも非常に盛況であった。春季大会の第三会場に柱の蔭になるうしろの人のためにテレビを設置した。

[気象研究ノート]

第153号「教育と気象」が5月下旬発行される。続いて「局地循環」とあと2つ位を今年度予定している。

[国際交流]

国際学術交流基金への募金がスタートした。

国際学術研究集会への出席補助金受領候補者の募集

を行い、補助金については申請書ができた段階で検討する。

B. 審議事項

1. 昭和60年度事業報告について
庶務担当理事から資料にもとづき説明があり、一部修正のうえ承認された。
2. 昭和60年度会計決算報告について
会計担当理事から資料にもとづき説明があり、承認された。
3. 昭和60年度監査報告について
丸山監事が4月18日(金)行った監査結果について、資料にもとづき報告を行った。指摘された気象研究ノート発行体制の強化、国際学術交流事業に対する財源獲得の努力、事務機器の効率的運用体制の確立などについては今後対応を検討することにした。
4. 昭和61年度事業計画(案)について
庶務担当理事から資料にもとづき説明があり、一部修正のうえ承認された。
5. 昭和61年度予算(案)について
会計担当理事から資料にもとづき説明があり、字句を一部修正のうえ承認された。
6. 数値予報シンポジウムについて
気象庁と気象学会による数値予報シンポジウム実行委員会を設置した。学会のメンバーは山元、松野、浅井、河村、竹内の各理事である。寄付についても実行委員会で検討する。
7. 会員の新規加入の承認について
個人会員森田正光ほか18名の新規加入が承認された。
8. 常任理事の交替について
4月の人事異動にともない春日理事から山岸理事への常任理事の交替が承認された。
9. 昭和62年度大会当番について
春季大会は気象大学校に、秋季大会は北海道支部にそれぞれ決定した。